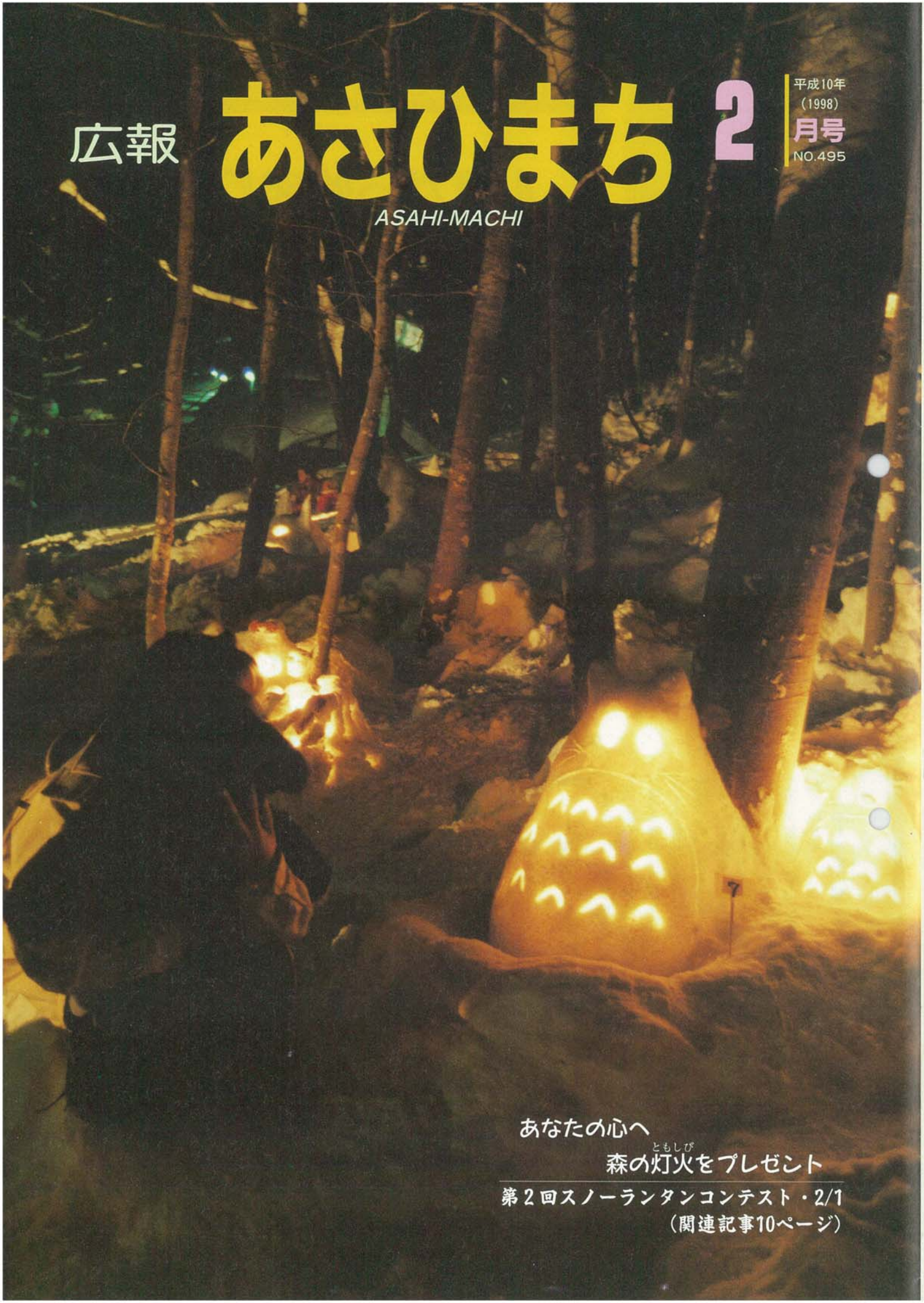
広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

2

平成10年
(1998)
月号
NO.495



あなたの心へ
森の灯火(ともしび)をプレゼント

第2回スノーランタンコンテスト・2/1
(関連記事10ページ)

リサイクル型社会への新たな転換

4月から始まります ごみの有料化と分別収集

分別排出・収集することになります。
あるのでご注意ください。

「ごみを資源に／ごみは利用できると考えよう／」。このような考え方から昨年4月に法律「容器包装リサイクル法」がスタートしました。

これにともなって、寒河江地区クリーンセンター管内でも今年4月から、いよいよごみの有料化と分別収集が始まります。

今月はごみの有料化と分別収集の方法を紹介しながら、我が町のごみ事情について考えてみます。

年々深刻化するごみ問題

日常生活の中で毎日排出されるごみ。私たちがふだん当たり前のように捨てているごみは、年々増え続けており、今や全国的に大きな社会問題となっています。「人間が生活するうえでごみは必ず出るものだから、しょうがない」といった安易な考えが、このような問題を引き起こした大きな原因といえます。

それでは、全国の家庭や職場から出されたごみの総排出量と町のごみの総排出量は、いったいどれくらいなのでしょうか。平成五年度中に全国から出されたごみの排出量は、約五三〇〇万トン。東京ドームの約百三十五杯分と想像を絶する量になりました。

また、平成八年度中に町から出されたごみの排出量は、燃やせるごみ七八八トン、燃やせないごみ四五二トン（グラフ①）になりました。これは、町民一人一日あたり三百四十二グラム、一年間に約百二十五キロものごみを出したことになります。人口一万人弱の我が町でさえ、これほどの量が出されたことになります。

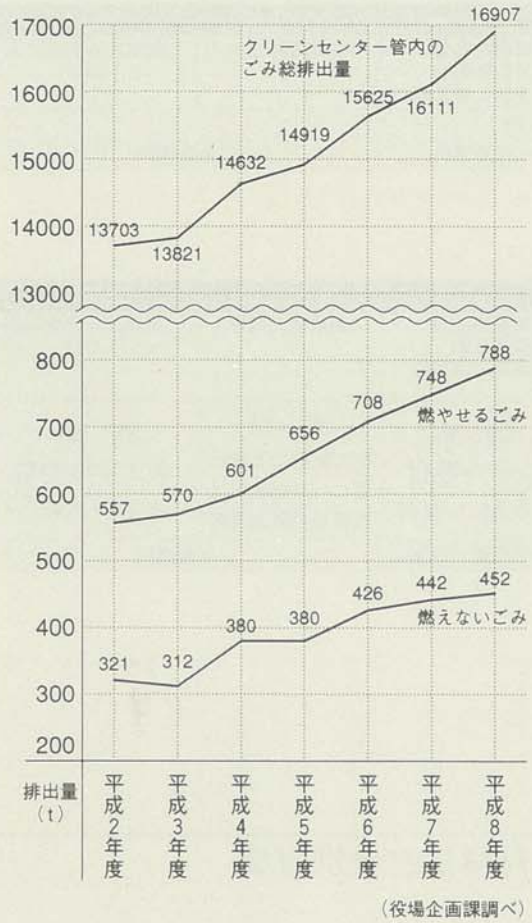
一日あたり十四万二千円のごみ処理費

現在、私たちの家庭から出された燃やせるごみは、寒河江市にある寒河江地区クリーンセンターで焼却処分されています。燃えないごみについても、同センターの粗大ゴミ処理施設で粉砕処理を行ってから、資源物はリサイクルへ、それ以外は寒河江市幸生の大平山へ埋め立てられています。

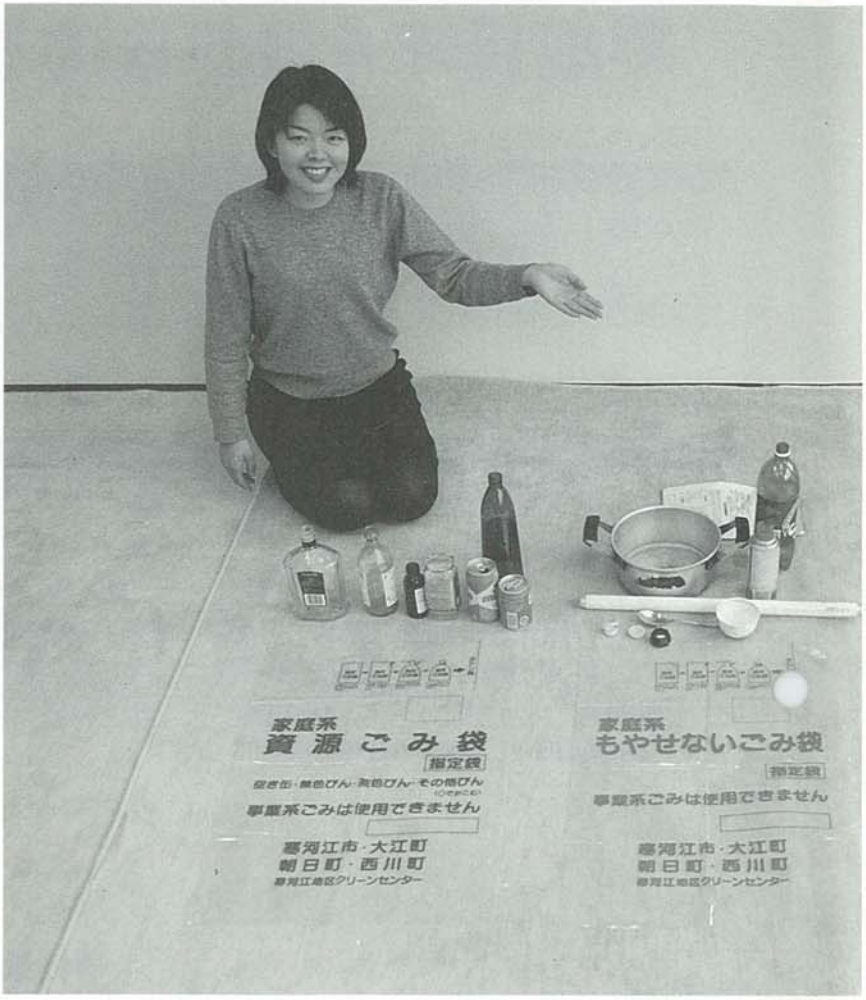
しかし当町同様、管内のごみも年々増え続け、焼却施設の老朽化や埋め立て施設の寿命、ごみ焼却に伴うダイオキシンの発生など、多くの問題が発生してきました。

さらに、ごみ処理に伴う経費は、各市町にとって財政的にも大きな負担となっています。平成八年度におけるごみ処理に関する町の費用は、約五千百七十万円。捨てるごみのために、私

町とクリーンセンター管内のごみ総排出量の推移（グラフ①）



（役場企画課調べ）



4月からは「もやせるゴミ」、「もやせないごみ」、「資源ごみ」の3つにただし「資源ごみ」は、さらにびん類と缶類の4分類に分別する必要が

たちの貴重な税金が一日約十四万二千円も使われたことになります。増え続けるごみをどう処理するかも大事な問題ですが、出すごみをいかに減らすかが今、問われています。

リサイクル型社会へ向けて
容器包装リサイクル法が制定

「ごみを資源に！ごみは再利用できると考えよう！」。このような考えから、法律「容器包装リサイクル法」が平成七年の国会で制定され、昨年四月から施行されました。これは、

①『消費者には分別して排出』
②『市町村には分別して回収』
③『事業者には再資源化』

と、それぞれの役割を明確にすることで、「ごみの減量化」と「リサイクル」を国民一丸となって取り組もうとする法律です。

これにともなって、寒河江地区クリーンセンター管内でも今年四月から、各家庭から出されるごみの有料化と分別排出・収集が始まります。いよいよ「ごみ減量化とリサイクル大作戦」が始まろうとしています。

ごみ減量化と
処理費負担による公平化

まず始めに、ごみの有料化は、処理経費の一部を町民のみなさんからも負担していただくことによって、

①ごみ処理に膨大な費用がかかるということの再認識
②自家処理などを含めたリサイクルを推進し、物を大切にする心を育てる

ことを第一の目的としています。

また、生ごみなどは、生ごみ処理容器（コンポスト）やEMボカシで自家処理を行い、生ごみを堆肥化することによって、ごみ減量化に努力している方がたくさんいます。こういった方とそうでない方との公平化を図るためにも、受益者負担の原則を導入し、排出量に応じたごみ処理費を負担していただこうというものです。

さらに、平成十年度には、老朽化したごみ焼却炉の建て替えが予定されており、増大が予想される市町分担金の軽減を図ることにもつながります。

平成10年４月からのごみの出し方(表①)

□現在のごみの出し方

区　分	もやせるごみ	もやせないごみ	粗大ごみ	廃乾電池	焼却灰
分別の種類	○生ごみ　○紙くず ○衣類　○皮製品 ○木竹類	○プラスチック　○ゴム類　○せともの ○ガラスくず　○スプレー缶　○金属類 ○小型家電製品　○びん類　○缶類	○家電製品類 ○自転車類 ○家具・寝具類	○使用済乾電池	○家庭からの焼却灰 ○ペットの砂
料　金	無　料				
搬出場所	ごみ集積所		指定場所	ごみ集積所	

□平成10年４月１日からの出し方

区　分	もやせるごみ	もやせないごみ	資源ごみ		粗大ごみ	廃乾電池	焼却灰
分別の種類	○生ごみ　○紙くず ○衣類　○皮製品 ○木竹類	○プラスチック　○ゴム類 ○せともの　○ガラスくず ○スプレー缶　○金属類 ○小型家電製品	○びん類 ①無色のびん ②茶色のびん ③その他のびん	○缶類	○家電製品類 ○自転車類 ○家具・寝具類	○使用済乾電池	○家庭からの焼却灰 ○ペットの砂
料　金	有　料 緑文字指定袋 指定袋１枚40円	有　料 赤文字指定袋 指定袋１枚40円	有　料 青文字指定袋 指定袋１枚40円		有　料 シール貼付 １枚あたり400円	無　料 町で配布する赤いビニール袋または指定袋の外袋使用	有　料 赤文字指定袋 指定袋１枚40円
搬出場所	ごみ集積所	ごみ集積所	ごみ集積所		戸別収集（原則）	ごみ集積所	

※指定袋の販売店は、お知らせ板でお知らせいたします。

●特集

ごみの有料化と分別収集

三種類の指定袋とシールによる有料化

以上が有料化を導入する目的です。それでは、具体的にどのような方法で有料となるのでしょうか。

それにはまず、みなさんに指定袋と粗大ごみ用のシールを購入していただくことから始まります。指定袋には証紙が印刷してあり、それぞれ『燃やせるごみ⇩緑色』、『燃やせないごみ⇩赤色』、『資源ごみ⇩青色』と決まっています。

指定袋は、「燃やせるごみ用緑文字指定袋」が二十枚で一セット、「燃やせないごみ用赤文字指定袋」と「資源ごみ用青文字指定袋」が、それぞれ十枚で一セット、一枚四十円となっています。「粗大ゴミ用シール」は、一枚四百円のシールが五枚で一セットとなっています。

また、指定袋は、それぞれ外袋に入っていますが、これも捨てないようにしてください。この外袋は、使用済みの乾電池を出すときに使用します。

これらの袋とシールは、西村山広域行政事務組合の指定を受けた販売店で購入することになります。

分別のポイントは資源ごみと粗大ごみ

「今年の四月からよ、ごみをきちんと分別すらんないんだど。難しくて、めんどくさいずね」。

こんな会話がよく聞こえてきます。ちょっとお待ちください。そんなに難しく考えることはありません。みなさんはこれまでにも、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」、「粗大ごみ」と「廃乾電池」、そして「焼却灰」と分別してきました。

四月からの分別は、燃やせないごみのびんと缶を分けるだけと考えてみてはいかがでしょうか。具体的には、これまで燃やせないごみは、プラスチックもびんも缶も一緒の袋に入れて出していました。これからは表①のように、「燃やせないごみ」と「資源ごみ」に分別していただくことになります。特に資源ごみは、①『無色のびん』②『茶

ごみいろいろ

写真の12種類
あなたはどう分別しますか？

正解　①ボトルは「燃やせない袋」。金属キャップは「資源ごみ袋」の缶類へ。②細かくばらして「燃やせない袋」へ。③折れる場合は「燃やせない袋」へ。それ以外は束ねて粗大ごみへ。④穴を空けて「燃やせない袋」へ。⑤汚物を取り除いて「燃やせる袋」へ。⑥乾電池を外して「燃やせない袋」へ。⑦「燃やせない袋」へ。絶対に燃やしたり「燃やせる袋」に入れない。⑧ビニールと銀紙は「燃やせない袋」へ。⑨無色・茶色・その他のびん・缶類に分別して「資源ごみ袋」へ。⑩割らないで「燃やせない袋」へ。はみ出しても可。⑪束ねて資源回収へ。⑫袋に入る大きさのものは「燃やせない袋」。入らないものは粗大ごみへ。

わたしたち一人ひとりがごみ減量とリサイクル作戦の主人公

ごみ減量化と限りある資源を守るリサイクルは、単に再資源化を進めるだけでなく、地球環境を守り、豊かな自然を未来に残すためにも、ぜひ解決しなければならない課題です。

私たち一人ひとりが、ごみ減量化とリサイクル作戦の主人公となり、「地球にやさしい朝日町」を進めていきましょう。

◆ごみ特集を読んでのご意見・お問い合わせは、役場企画課（☎67－2112）または、「広報あさひまち」の折り込みはがきに記入のうえ郵送してください。

色のびん』、③『その他のびん』④『缶類』の四種類に分けなくてはなりません。

最初から四つの袋を用意するのもいいでしょう。そんなに置く場所が無いという方は、大きい袋に分別しないでためておき、ある程度たまったら一気に分別してしまうなど、自分にあったそれぞれの方法があるはずです。家族みんなで協力しあいながら、分別収集にご協力ください。

なお、二月中に新しい分別排出・収集の試行用として、一戸あたり三種類十五枚を無料配布します。三月から新しくなったごみ袋でごみを出すようにしてください。

また、粗大ごみの収集は、これまで指定された場所で、年一回収集していましたが、**四月からは戸別の収集になります。ごみの種類、収集の日を確認し、適正な料金分のシールを貼って、収集日に指定された場所に出してください。**町の委託業者が各戸の粗大ごみを回収します。

年の初めに長寿を祝う

65人に賀詞と記念品贈呈

年の初めの一月七日、町内のお年寄りの長寿を祝う賀詞と記念品の贈呈が行われました。

この日は、清野町長らが手分けして長寿者宅を訪問。上寿者（百歳以上）六人、白寿者（九十九歳）一人、米寿者（八十八歳）五十八人の計六十五人に、賀詞と記念品の座布団を手渡しました。

夫婦めでたく米寿を迎えた熊谷榮作さん、まつさん夫妻（四ノ沢）は、「これまで夫婦で手を取り助け合いながら生きてきました。長生きの秘訣？、そりゃ相手を思いやる心だべな」と、互いに目を細め少し照れながら語ってくれました。

上寿、白寿、米寿を迎えられた方々は次のみなさんです。

（順不同・敬称略）

夫婦仲よく米寿を迎えた熊谷さん夫妻

●上寿者
志藤きく（川通）／鈴木はつよ（前田沢）／佐藤きくの（平）／藤澤ひて乃（杉山）／長岡スイ（大谷四）／長岡とい（太郎一）

●白寿者
熊谷タケエ（小原）

●米寿者
佐藤清作（本町）／浅岡清之助（西町）／武田つるの（西町）／布施みよ志（西町）／小関シナエ（栄町）／鈴木岩吉（助ノ巻）／佐藤兵三（助ノ巻）／海野富太郎（大町）／長岡たけよ（大町）／多田健吉（大町）／渡辺のゑ（大町）／松田まつよ（大町）／花山満雄（大町）／鈴木長治（元町）／鈴木なつ（元町）／鈴木ましゑ（元町）／大場きぬゑ（前田沢）／熊谷榮作（四ノ沢）／熊谷まつ（四ノ沢）／佐藤きよ（小原）／菅井福治（沼向）／設楽弥八（平）／清野ミヨシ（送橋）／渡辺ぶん（送橋）／大滝たき江（下芦沢）／岡崎ツネ子（下芦沢）／渡辺こふ（宇津野）／佐藤しつゑ（宇津野）／村山美喜雄（宇津野）／阿部まさゑ（宇津野）／佐竹いせ（常盤）／阿部ふち（夏草）／阿部きくゑ（夏草）／長岡さくよ（八ツ沼）／小松幾代（八ツ沼）／熊谷和一（能中）／相座孝太（太郎二）／長岡こゑ（太郎二）／佐竹きみん（白倉）／阿部むめ（松程）／鈴木作太郎（松程）／鈴木定雄（松程）／白田甚四郎（大谷一）／白田八十二（大谷一）／桜井新三郎（大谷二）／白田つねよ（大谷三）／横山マサエ（大谷四）／菊地よねゑ（大谷四）／今田シゲ（大谷四）／鈴木ひて（大谷四）／松田留吉（大谷四）／白田つるの（大谷四）／川村きゑ（大谷五）／川村長吉（大谷六）／小野榮多（大谷六）／小野清次（大谷七）／遠藤ゆきこ（栗木沢）／遠藤はる（栗木沢）

朝日山麓家族旅行村
Asahi自然観だより ⑦

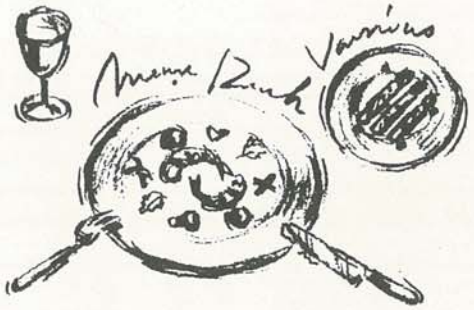
まだまだ寒さの厳しい毎日ですが、日差しも少しずつ暖かくなり春を感じさせるようになってきました。もうすぐ卒業シーズン。それぞれ就職や進学に胸膨らませている方、試験に向かって最後の追い込みをしている方などさまざまだと思われます。

さて、朝日自然観では、この春ご卒業のみなさんのために、「卒業祝い　特別ディナー」をご用意しています。ご家族で卒業のお祝いをしながら、楽しいひとときをお過ごしください。

また当日は、これから社会に出てから役に立つように簡単な洋食マナーの説明をいたします。洋食が初めての方でも気軽にお越しください。

●メニュー
グラスワイン・・・ 朝日町ワイン
オードブル　・・・ 魚介のパイ包み焼きスジェール風
スープ ・・・ 春のスープ（そら豆）
魚料理 ・・・ 桜鯛のアスパラ焼き　ハマグリ添え
肉料理 ・・・ 山形牛ロースのステーキ　菜の花添え
デザート ・・・ 自然観特製デザート
パン・コーヒー

●料金はお一人様4,000円（税別）。
お申し込み・お問い合わせは朝日自然観まで
（☎0237－83－7111）



「アジア情勢が世界を動かす」

～地域開発講演会～

世界の情勢を鋭く分析する小林氏

タイ通貨バーツに始まったアジアの通貨危機は、日本にも広がる危険性をはらんでいると言われています。私たちの生活も世界の情勢を知らなければ、立ち行かない時代になりました。第一線で活躍しているジャーナリストの生の話を聞いて、明日の世界を見る目を開こうと、ＮＨＫ解説主幹の小林和男氏の「アジア情勢が世界を動かす」と題した地域開発講演会が１月16日､町中央公民館で開催されました。

小林氏はモスクワ支局長やＢＳ衛星放送のキャスターを経て、現在「21世紀への奔流」のキャスターを務めている国際情勢に大変明るい方です。最近の東アジアの通貨危機について「昨年の７月にタイのバーツ大暴落に始まり、インドネシア、マレーシア、韓国へと飛び火している状況を作り出した主原因は、社会資本の整備や教育環境が十分に整備されていない所に、日本を始めとする先進国のお金をどんどんつぎ込んだために、バブル経済状態になりそれが崩壊し自国通貨の暴落につながったものである」と指摘。「現在の状況が12億の民がいる中国に移れば、経済破綻を起こし多くの難民が日本に流入してくることが予想される。その数は現在の密航者数とはけた違いになるだろう」と、現在の経済危機が日本に及ぼす影響を鋭く指摘しました。

また､「これから世界で日本が生き残っていくためには、今盛んに取り上げられている情報の公開は是非行われなければならない。また、国が行っているさまざまな規制を緩和し市場原理を第一に考えたフレキシブな経済環境を整えなければならない」と今後の日本経済の方向を示されました｡集まった約200人の町民らは、説得力ある情勢分析に熱心に聴き入っていました。

㈱さくらんぼテレビジョン本社（山形市）

さくらんぼテレビが今年中に開局される見通しとなりました

町民のみなさんより強い要望が寄せられていた、さくらんぼテレビ(ＳＡＹ)朝日中継局が今年中に開局される見通しとなりました。

さくらんぼテレビは昨年四月に開局し、町内では大谷地区など一部の地域を除き受信できない状況にあります。町では、開局時からこれらの情報格差を解消されるよう同テレビ局に運動を展開してきました。この度､「今年の十二月を目標に開局したい」との回答を得たところです。

朝日中継局が開局となれば、町内ほぼ全域で鮮明な画像が受信できるようになります。

なお、一日も早い開局をこれからも要望していきます。

朝日町母子保健推進会が厚生大臣表彰を受賞

朝日町母子保健推進会が、母子保健全国大会の席上で厚生大臣より表彰状を授与されました。

朝日町母子保健推進会は、昭和四十六年より母と子の健康保持と増進のために活動しており、その功績が認められたものです。

代表の遠藤敏子さん（真中）は､「保健事業は町づくりの土台となるものです。これからも行政と町民のみなさんとのパイプ役として努力していきたい」と語ってくれました。

町除雪隊の一日を追って

雪と戦う午前3時の男たち

この冬一番の強い寒気が入り込んだ一月二十二日の午前三時すぎ、多くの人たちがこころよい眠りの中にあるころ、除雪隊の一日が始まった。

彼らに与えられた第一の任務は、出勤時間までの交通の確保。無言の雪音と重量感ある除雪車のエンジン音が、静かな街に響いていた。午前四時、除雪車のサーチライトが映し出す雪の白い部分と、タイヤチェーンが路面とぶつかる音を震わせて、十四台の除雪車がやみの中へと消えていった。

現在、町内の道路で国県道延長六十七キロは、国県の業者委託路線。町の管理する町道などおよそ百四十キロが、彼らの主役舞台である。白い大地の戦場に向かおうとする彼らの顔には、雪道の交通を確保するという使命感が満ちあふれていた。

午前3時10分、除雪車の雪下ろしと暖機運転に向かう。
特に今夜は雪の降りっぷりがよく、戦う相手に不足なし

一服のお茶を飲みながら出陣前の打ち合わせ

ドーザー板を路面すれすれに降ろす技は、
まさに職人芸

カメラさんぽ

サーチライトが雪道を照らし、大量の雪をものともせず押し進む。
その姿は〝戦車〟のよう

助手席からの眺め

午前10時の遅い朝食。緊張がほぐれる一時だ

また明日の雪との戦いに備え、除雪車の手入れで一日が終わる

日中は道路拡幅のための排雪作業。通行する車や
道路沿いの人たちに一時協力をお願いする

まちの話題

まちの話題…❶　第２回スノーランタンコンテスト

雑木林に幻想的に灯(とも)るスノーランタン

第２回スノーランタンコンテストが２月１日、朝日自然観コテージ村の雑木林で行われました。

このコンテストは、雪を使った新しいイベントとして、町商工会青年部と婦人部が企画したもので、町内外から43組、約100人の親子連れなどが参加。約３時間かけて、自由なテーマで作製しました。

参加者は、雪像をくり抜いたり、雪玉を重ねたりするなど、中にろうそくを灯せる大小さまざまなスノーランタンを作製。薄暗くなるころ、ろうそくに火を灯すと、暗がりの雑木林に優しい明かりが浮かび上がり、幻想的な世界を演出しました。コンテストの結果は次のとおりです。（敬称略）

●最優秀賞・大人の部／西澤敬子（西原）・子供の部／佐竹麻奈美、浅岡春香、細谷宏美（宇津野）

まちの話題…❸　第18回女性まつり

学んで 笑って 生き生き人生

第18回女性まつりが１月25日、町中央公民館で開催されました。

これは、町連合婦人会が主催となって毎年行われているもので、約400人が参加。「生涯教育・学習の町あさひ」の宣言唱和の後、各文化教室の発表会や刺し子などの展示会が行われました。

また、午後からは、４月から実施される「ごみ分別収集と有料化について」の婦人若妻合同学習会が行われ、間近に控えた新しいごみの排出方法について学びました。

まちの話題…❷　商売繁盛祈願祭

商工業の発展を祈る

新春恒例となった町商工会主催の商売繁盛祈願祭が１月11日、町中央公民館で開催されました。

当日は、関係者約80人が出席。出羽三山神社の山伏によるほら貝が鳴り響くなか、鈴木商工会長らが玉串を捧げ、今年一年の商工業の発展を祈りました。

鈴木商工会長は「みなさんの英知を結集し、商売繁盛となるようがんばりま・しょう」と参加者に語りかけました。

まちの話題…❺　第19回県スキー技術選手権大会

当町から出場した布施選手の滑り

ハイレベルな戦い

県内トップのスキーデモンストレーターが基礎スキーの高度な技術を競う、県スキー技術選手権大会が２月３日、朝日自然観スキー場で開催されました。

同大会は、全日本スキー技術選手権大会の県予選を兼ねており、前回の全日本チャンピオン粟野利信選手ら県内から男子89人、女子６人が参加。急斜面での小回りやウエーブなど難易度の高い６種目で競い合いました。

朝日町からは、自然観スキークラブ所属の布施哲也選手（松程・25歳）が出場。布施選手は「今年は37位と順位を上げることができました。練習に励み来年も挑戦します」と、早くも次大会に向けての抱負を語ってくれました。

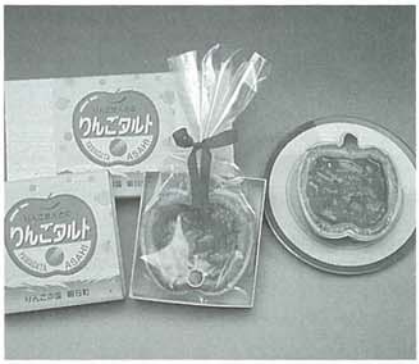
まちの話題…❹ ふるさと賞受賞

りんごタルトが全国ふるさと賞を受賞

朝日町の新しい特産品「あさひりんごタルト」が、第11回全国むらおこし展の特産品コンテストにおいて、ふるさと賞（食品部門）を受賞しました。

同コンテストは、全国商工会連合会が主催となって開催したもので、全国1,000市町村から5,000品が出品。朝日町からは、特産品であるりんごを素材に朝日町菓子組合が開発した「あさひりんごタルト」を出品し、村おこし展に訪れた来場者の投票によって、みごとふるさと賞に輝いたものです。

朝日町菓子組合長の布施完さん（大町）は、「町を代表するお土産品になるようこれからも努力していきたい」と語ってくれました。



まちの話題…❻　第３回わんぱくスクール

飛行機づくりに挑戦

第３回わんぱくスクールが２月１日、町中央公民館で行われました。

今回は、発泡スチロール板とバルサ材を使った模型飛行機づくりに挑戦したもので、親子連れら25人が参加。よく飛ぶように機体のバランスを調整し、さまざまな工夫を凝らしながら作製。

できあがった飛行機をさっそく会場で飛ばしていました。

まちの話題…❼　第47回全日本年賀状版画・絵手紙コンクール

近衛理奈さん（和合小２年）

阿部岳志くん（立木小２年）

佐竹　翼くん（立木小３年）

３人の子供たちが全国入選

第47回全日本年賀状版画・絵手紙コンクールが開催され、町内からは３人の子供たちの作品が入選しました。

これは、郵政省が毎年行っているもので、今回は全国の幼児から大人までの約七万点の作品が寄せられました。

小学校低学年の版画部門で東北郵政局長賞に輝いた近衛理奈さん（和合小２年）は、「全国で入選できると思っていなかったのでびっくりしました。楽しかったスキーを版画にしてみました」と喜びを語ってくれました。

入選者は次のとおりです。（敬称略）

●全日本年賀状版画絵手紙コンクール
小学校低学年版画部門
▼東北郵政局長賞／近衛理奈（和合小２年）
▼佳作／阿部岳志（立木小２年）
小学校低学年絵手紙部門
▼東北郵政局長賞／佐竹翼（立木小３年）
【東北地方審査会】
▼版画部門入選／近衛理奈（和合小２年）・阿部岳志（立木小２年）・佐竹翼（立木小３年）・松田光平（立木小４年）・長岡洋樹（立木小５年）・阿部正樹（西小大船木分校５年）
▼佳作／阿部岳志（立木小２年）・佐竹翼（立木小３年）
▼絵手紙部門入選／佐竹翼（立木小３年）

みんなのひろば

新婚さん

常盤／阿部　幸司さん　志保さん

昨年８月にゴールインした幸司さんと志保さんは、同じ高校の同級生で、クラスメイト公認のカップルだったそうです。そんな理想のカップルにも、これまでに何回となく破滅の危機が訪れたとか。しかし、二人にとってそんなピンチも、結果的には愛を深めるためのプロローグに過ぎなかったようです。

結婚を決意した理由は？とお聞きしたところ（ヤボな質問ですみません）、「志保のすべてが好きだから」と、間髪入れずに答えてくれた幸司さん。一方、志保さんは「私のすべてを受け入れてくれる優しいところかな」と、聞いた方が赤面してしまうほどみごとにのろけられてしまいました。

１月には長男が誕生。家族３人でスノーボードをしたいという、ちょっと気の早い幸司さんは、「笑顔の絶えないほのぼのとした家庭にしたい」と話してくれました。いつまでもお幸せに。

すてきな仲間たち ㉞

「アップルワンズ」バレーボールで心も体もリフレッシュ

町内のバレー好きの仲間が集まってできたチームです。既婚者の多いチームですが、家族の暖かい理解があるおかげで、週１回、年間を通して練習を続けています。

機会がある限り数多く試合に参加し、勝ち負けにこだわらず楽しく、チームメイト全員が試合の緊張感を味わうことをモットーにしています。

練習後のおしゃべりは、仲間同士の信頼をより深め、時には、練習が主なのか、おしゃべりが主なのか分からないこともあります。いずれにせよ日ごろのストレス解消にはもってこいの場となっています。興味のある方、初心者の方も大歓迎です。ぜひ、仲間に入りませんか。　（代表　渡辺はるみ　☎67―7840）

せんせい　さゆり保育園　あ・の・ね

（節分の日に保育園からお帰りのときに）

園児Ａ「お母さん今日よ、保育園に本物の鬼来たっけよ」

お母さん「怖くないっけ」

園児Ａ「最初怖いっけげんど、少ししたら怖くなぐなったけ」

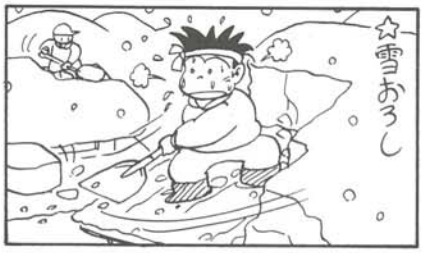
お母さん「どうして」

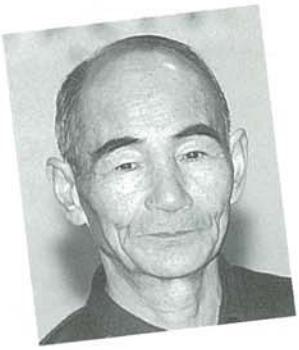
園児Ａ「鬼帰るときよ、ぼくさバイバイって言ってくれたもん」

保　母「ハハハハハ……」

となりのリンゴさん

作・ホリィ (110)





ひとことトーク

レッツトライ エアロビクス

～日常とは変わった空間で汗をかく楽しさを伝えたい～

小野　由美さん
（大谷六）

エアロビクスのインストラクターってかっこいいな、というささいな好奇心から、インストラ養成学校に通ったのが始まりでした。現在は、天童市内のスポーツセンターで主婦や勤め帰りの方にエアロビクスの指導をしています。また、地元大谷の青年組織が主催する教室で、約三十人の女性の方々にさわやかな汗をかいていただいています。

しかし、指導といってもまだまだ未熟なもので、現に参加いただいているみなさんに励まされながらの毎日が、私にとってとても勉強になっています。

健康の自己管理と心身のリフレッシュを図る意味で、エアロビクスで汗をかくことは最高です。これからは、体を動かす楽しさを伝えていくことで、町内にエアロビクスをもっと普及していきたいと思っています。

よくわかる「エコミュージアム」入門 ㉔

人を育てるエコミュージアム

先日、ある小学校で、「生まれ育った大地（郷土）に根づいた学習を推進するために」というお話を聞きました。その中で、生きる力を育む郷土学習の目的とは、「郷土の豊かな自然の恵み触れ、かけがえのない自然を後世に残していこうとする心情を育むこと」「郷土の歴史や伝統に触れ、先人の願いや由来を知り、興味と関心をもつこと」「生活を切り開いてきた先人の苦労を知り、自分の生き方についての土台を養うこと」「栽培活動を通して、土に親しみ協力する喜びを味わうとともに、生産する楽しさを実感すること」「郷土の産業や地域おこしなどを学び、潤いのある生活を求めていこうとする心情を養うこと」などに分けられ、郷土を知り、郷土に学び、郷土を愛する、そんな子供たちになってほしいというものでした。これらは、エコミュージアムの考え方と同じものです。

町民自らが案内人となって、豊かな経験や知識を伝え、感動体験の機会を充実させられたら、子供たちは、おのずと町の持っている良さを見つけ、愛着を持ち、町の本当の価値を理解していくことでしょう。そして、大切なものを発見した子供たちは、将来心にゆとりを持ったりっぱな町の学芸員に育っていくことと思います。伝え、守り、残し、育てることも、エコミュージアムの考え方です。

（朝日町エコミュージアム研究機構）

グリーンクラブの農作業体験

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、
質問など待っています。

〔あて先●朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係〕

防犯灯の設置を

西 原から元町に行く道路は、子供たちの通学路になっており、夜になると防犯灯が少なく暗いために非常に危険です。事故防止のためにも防犯灯を設置していただけないでしょうか。

【堀晃・元町】

答 電柱に設置する防犯灯については、毎年区長さんより要望書を提出していただき対処しているところです。区長さんにお話し要望してくださるようお願いします。【生活福祉課】

朝日町交番からのお知らせ

一 月三日、東北ウエルマート朝日店にクサリを首輪に付けた犬一頭が来て、店長が困っていました。たとえクサリを切って逃げたとしても、山形県飼い犬管理条例違反です。昨年は、未届けながらも放し飼いの犬が町民にかみついた例もありました。大事件にならないようにしっかり管理をしてください。

また、最近シートベルトの未着用や駐車違反が見受けられます。冬期間は除雪作業の妨害になりますので、厳しく取り締まりを実施します。事件事故のない明るい朝日町にしましょう。

【朝日町交番】

ポリネーションの見直しを

近 年のりんご価格の下落低迷により、りんご農家の所得は減少しているのが実状です。販売価格の上昇が望めない現状を考えると、経費を削減し所得の向上を図るしかありません。そのために考えられることは、摘果労力を軽減することが一番と思われます。

具体的な摘果労力の削減と結実確保対策としては、人工受粉とマメコバチを利用します。そして、開花期間中に「摘花剤」を散布し、花のめしべを焼きます。そうすることによって、余分な結実を減らすことができ、しかも良品多収に結び付くという訳です。

現在は、ミツバチ利用によるポリネーションが行われていますが、この方法では、収穫する果実以外の結実が非常に多く、お金を払ってミツバチを頼み、人夫を頼んで摘果作業をしている現状に矛盾を感じます。

町当局もミツバチ利用によるポリネーションに、助成金を出しているわけですが、税金の無駄遣いのように思われます。善処をお願いします。

【天使のアップル】

答 ミツバチ利用によるポリネーションは、りんごの結実確保と受粉作業の労力軽減対策として「りんご生産対策協議会」が主体となって実施しています。

りんごは、町の主力農産物であり、生産量の確保と品質の善し悪しは、生産農家はもとより町全体の経済に与える影響も大きいため、町でも応分の補助金を交付しながら支援し、そして成果を上げてきたものと確信しています。

ご指摘のように、近年、りんご販売価格の低迷が続いており、生産コストの削減を進める必要があります。また、ポリネーションにも多額の生産者負担が伴っており、これに替わる適切な技術対策があれば、見直す時期にきているのではとも考えられます。

町としては、実施主体である「りんご生産対策協議会」で充分検討していただき、〝朝日町りんご〟の銘柄産地確立のため、できるだけ支援していきたいと考えています。

【農林課】

広報◆クイズ 図書券が当たる

【問題】

①右の写真は朝日自然観コテージ村の雑木林で行われた「スノー○○○○コンテスト」

②朝日自然観スキー場で行われた「県スキー○○選手権大会」

③今年めでたく上寿を迎えた方は町内に「○人」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。

【十二月号の答え】①五十四年②往来③十二人

【応募者総数】二十人

【十二月号の当選者】多田苗生美さん(大町)・大井勝さん(太郎三)・水沼清さん(大谷七)

■12月1日～31日届出

すこやかに

（出生届）

区名	出生児氏名	保護者名
本町	吉田拓朗	好伸
松程	鈴木涼	裕一
小原	菅井里咲	源三郎
立木	阿部聖弥	俊幸
大町	峯田友姫	彰
大町	長岡未紗	和広

おしあわせに

（婚姻届）

伊藤進一（能中）	♥	﨑村弘美（栄町）
朽木憲一（栄町）	♥	奥山時（村山市）
峯田浩樹（西町）	♥	渡邊雅子（西川町）
戸田秀明（西船渡）	♥	横尾由子（東根市）
五十嵐孝行（中沢）	♥	長岡百合子（本町）

やすらかに

（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
古槙	清野ミヨシ	正夫
石須部	岸正子	正雄
前田沢	小池正	今井優子
大谷五	白田新太郎	新吉
西町	菅井静江	昭彦
栗木沢	志藤ツルヨ	吉雄
松原	安藤さと江	辰雄
大谷三	鈴木せい	和夫
大谷五	白田ふてよ	忠夫
太郎三	阿部みつゑ	勝弘
栗木沢	遠藤好見	智義子
大船木	長岡清	文

■1月1日～31日届出

すこやかに

（出生届）

区名	出生児氏名	保護者名
八ツ沼	阿部詩織	勉
小原	鈴木涼	誠
四ノ沢	清野郁美	浩和
大町	伊藤華奈	淳
助ノ巻	鈴木理	俊治
大沼	白田唯乃	幸男
大谷三	佐藤綾翼	仁
大滝	長岡	信一
杉山	安藤力哉	直喜

おしあわせに

（婚姻届）

阿部繁美（杉山）	♥	孟穎（中国）
相座朋樹（小原）	♥	伊豆田千夏（山形市）

やすらかに

（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
大谷四	松田三郎	留吉
大谷三	白田ま し	光市
水本	渡邉利助	秀雄
元町	堀儀助	晃
西町	土屋竹千代	きく子
大谷二	鈴木藤藏	孝一
能中	志藤國治	三代治
四ノ沢	清野きよ	本人

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

くらしの知恵袋 ⑰

海野智子さん（能中）

3月の節句のころに「かきもち」を作ってみてはいかがでしょうか。だれにでも簡単に作れるかきもちは、お子さんやお孫さんのおやつとしても最適です。

◆かきもち

《材　料》・もち米三升・豆二合・ゴマ75グラム　・砂糖1キロ・塩少々・ベーキングパウダー少々

《作り方》①もち米と豆を一晩浸す。
②①をふかす。
③もちつき機でついて柔らかくし、砂糖、ゴマ、塩、ベーキングパウダーを混ぜ合わせる。
④つきあがったら、バットなどの容器に延ばし、二日ほどしたら薄く切る。（厚く切ると膨らまないので注意）
⑤切ったもちを一週間ほど乾かす。

《食べ方》低温の油で揚げて食べる。ただし、低く過ぎると膨らまないので注意してください。

夢⑪ かなうといいな

今月は送橋小学校六年生です

●将来は漫画家になって、みんなに夢を与えられるような漫画を書きたい。ドラえもんのような楽しい漫画が書けたら最高だろうな。

清野隼次・送橋

●飼っているネコが病気になって、とてもかわいそうだった。将来は獣医になって、少しでも病気で苦しんでいる動物を治療してあげたい。

清野千秋・送橋

●私は馬が大好きなので競馬の騎手になりたい。武豊騎手のようにG1でどんどん勝てたら幸せだろうな。努力します。神様お願い。

大滝明日香・下芦沢

●料理を作るのも食べるのも大好きなので、シェフになっておいしい料理をたくさん食べてみたい。将来はどっちの料理ショーに出演したい。

渡辺洋人・下芦沢

人口と世帯数

●平成9年12月31日現在

人口		9,860（減18）
	男	4,901（減 8）
	女	4,959（減10）
世帯数		2,583（減 1）

（　）内前月比

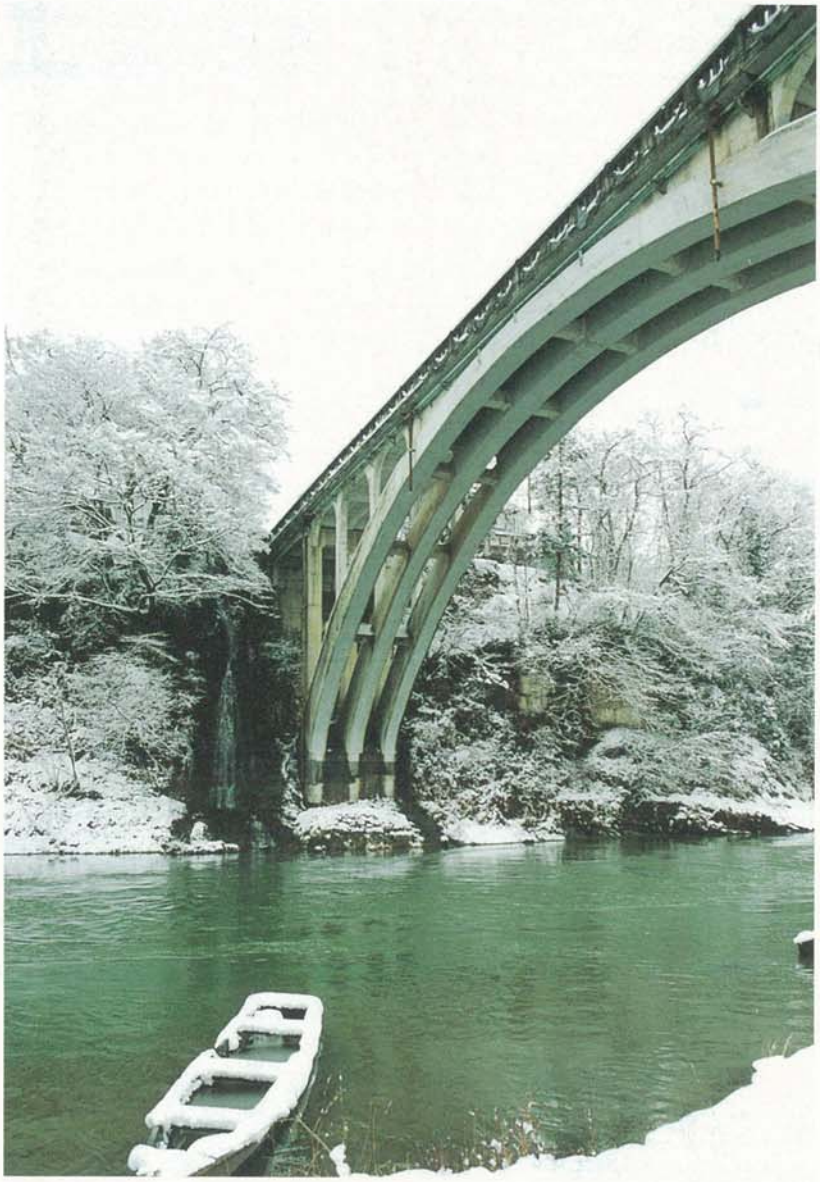
人口と世帯数

●平成10年1月31日現在

人口		9,857（減 3）
	男	4,897（減 4）
	女	4,960（増 1）
世帯数		2,580（減 3）

（　）内前月比

朝日町十景写真コンテスト入選作品⑫



●入選「厳冬の朝」

■撮影者　遠藤　俊晴さん（栗木沢）

今、明鏡橋の架け替え工事が計画されている。美しいアーチを描くこの橋は、自分の運命を知ってか、知らずか。川の水も凍る冬のある朝、見上げた橋に力強さと哀愁を感じシャターを押した。「明鏡橋より　ミノルタ　α707使用」

まごころBOX

▼㈱朝日町育英会へ寄付
多田積さん（大町）、鈴木たかさん（西町）、佐竹好三さん（山形市）より、それぞれ現金十万円をいただきました。

▼町にカーブミラーを寄付
さがえ西村山農業協同組合と山形県共済農業協同組合連合会より、カーブミラー五基をいただきました。

スキーの後はコテージでエンジョイ

本格的なスキーシーズンの到来です。朝日自然観スキー場では、スキーやスノーボードはもちろんのこと、小さいお子さんも十分楽しめるゲレンデを完備しています。昼はスキーで、夜はコテージライフをエンジョイできる朝日自然観へお越しください。

☆朝日自然観（☎83－7111）

編集後記

春　夏　秋　冬

新年早々から、うれしいニュースが飛び込んできました。年一回行われる県広報コンクールの広報紙部門（町村Ⅱ部・人口一万人以下）で、「広報あさひまち」が昨年に引き続き入選。また、組写真の部門でも八月号の「夏雲湧く大朝日岳めざして」が入選したとの知らせでした。

これもひとえに、町民のみなさんからの温かいご支援とご協力があったからこそと、感謝の気持ちでいっぱいです。

広報担当者にとってコンクールの結果だけが広報紙の善し悪しを決めるのではないと理解しつつも、もっと良い広報紙を作り上げようとするための活力剤になります。

これからも、町づくりにかける町民のみなさんの情熱と明るい話題を中心に、親しみのある広報紙づくりをめざしますので、よろしくお願いします。（岡）